

今週のお祈り
聖霊降臨後第6主日（特定9）特拝

主よ、わたしたちは主に寄らなければ、何一つ良いことはできません。どうか、主に従い、み心にかなうように生き、常に正しいことを思い、また行うことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東日本教区
聖パウロ教会 にちようがっこう

〒153-0053 目黒区五本木2-20-1
でんわ：03-3710-6031

号外 308

発行日
2026年
7月5日

先週掲載した紫色の花は「アガパンサス」と言います。ギリシャ語の「アガペ(無償の愛)」と「アンサス(花)」との組み合わせ、神様の無償の愛を表す「アガペ」が使われています。アガパンサスを見たら神様を思い出してね!

す。これらのことを知恵ある者や賢い者に隠して、幼子たちにお示しになりました。26 そうです、父よ、これは御心に適うことでした。27 すべてのは、父から私に任せられていま



今週の聖書 マタイによる福音書 11:16 ~ 19、25 ~ 30
16 今の時代は何にたとえたらよいか。広場に座って、ほかの者たちに呼びかけ、こう言っている子どもたちに似ている。17 『笛を吹いたのに／踊ってくれなかった。／弔いの歌を歌ったのに／悲しんでくれなかった。』18 ヨハネが来て、食べも飲みもしないと、『あれは悪霊に取りつかれている』と言ひ、19 人の子が来て、食べたり飲んだりすると、『見る、大食漢で大酒飲みだ。徴税人や罪人の仲間だ』と言う。しかし、知恵の正しさは、その働きが証明する。』25 その時、イエスはこう言われた。「天地の主である父よ、あなたをほめたたえま

聖書からのメッセージ

執事 林 汶慶

「もっと勉強しなさい」「いい子にしないと」。そんな言葉を聞くと、心が疲れてしまうことはありませんか？

そんな私たちに、イエスさまは優しく声をかけます。「重荷を負って苦労している者は、私のもとに来なさい。休ませてあげよう。」

「立派な子になってから来なさい」ではなく「疲れたまま、ありのままおいで」と招いてくださいます。そして、「私の軛(くびき)を負いなさい」と言われます。軛とは、二頭の牛がいっしょに荷物を引くための道具です。つまり、「一人で重い荷物を背負わなくていいよ。私がいっしょに歩いてあげるよ」ということです。

明日からも、「うまくやらないきゃ」と苦しくなることがあるかもしれせん。でも、あなたは決して一人ではありません。神さまはあなたを愛しています。イエスさまと安心して歩んでいきましょう。

す。父のほかに子を知る者はなく、子と、子が示そうと思ふ者のほかに、父を知る者はいません。28 すべて重荷を負って苦労している者は、私のもとに来なさい。あなたがたを休ませてあげよう。29 私は柔和で心のへりくだった者だから、私の軛を負い、私に学びなさい。30 私の軛は負いやすく、私の荷は軽